

石川県立錦城学園の令和元年度管理状況

様式3

施設所管課	健康福祉部障害保健福祉課
施設管理者	(社福)松原愛育会
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
中期経営目標 (H30～R4)	利用者アンケートにおいて、引き続き利用者サービス及び施設の維持・管理の満足度95%以上の維持を目指します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ◆個別支援計画 <ul style="list-style-type: none"> ・状況把握(アセスメント)、傾聴(ニーズ調査)、満足度調査(モニタリング)を行い計画の作成を行った ◆日中活動 <ul style="list-style-type: none"> ・適正や関心の高さと活動グループを編成、利用者の達成感、充実感、やりがい、楽しみがある時間を提供 ・新たに近隣のカフェにクッキーを販売した ・マイクロバスによる外出を多く実施した ◆食事、衛生保持 <ul style="list-style-type: none"> ・美味しく楽しく食事をできるように、食事の内容と食事場所の適切な環境づくりに努めた ・機械浴槽を使用し、これまでお湯に浸かることができなかった利用者に対しても、快適な入浴を提供した ◆健康維持 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者との会話・様子を通して体調の変化を早い段階で把握する ・軽運動を日常的に実施し、健康増進・老化予防を図った ◆支援の困難性の高い利用者 <ul style="list-style-type: none"> ・職員を研修へ派遣し、資質の向上に努めた ・医師、理学療法士、作業療法士等の専門職との連携を図り、専門性の高い支援のあり方、設備面の工夫を検討 ◆行事 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の興味・関心、ニーズに応える工夫をし、実施した
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新(月1回) ・広報誌を発刊(年2回) ・夏祭り、学園祭等イベント時の周辺住民等への周知

(2) 令和2年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の高齢化に対応するため、日中活動の班構成を4班から5班に増やし、より身体状況に即した活動内容に改める ・利用者の高齢化及び障害の多様化に対応するため、ポータブルトイレの増設、配薬キャビネットの改善、補助食品を増加する

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H26~28年度 (基準値)	H30年度	R1年度	前年度比	基準値比	R4年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	—	—	—	—	—	—
(2) 貸館稼働率 (%)	—	—	—	—	—	—
(3) 利用者アンケートにおける満足度						
利用者サービス (%)	98.5	100.0	97.8	-2.20ポイント	-1.70ポイント	95%以上
施設の維持管理 (%)	97.9	100.0	95.7	-4.30ポイント	-2.20ポイント	95%以上

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	—	—
貸館稼働率	—	—

(2) 利用者アンケート結果 (令和2年3月実施 有効回答数49件)

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	65.2	32.6	2.2	0.0
施設の維持管理 (%)	65.2	30.5	4.3	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常清掃：毎日1回実施 ・ 入所者の寮棟の廊下、デイルーム、食堂、配膳室のワックスかけや厨房清掃：年2回 ・ 事務室のある管理棟全域・医務室・洗濯室・体育館・作業棟のワックスかけ：年1回
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併処理施設保守点検：月2回 ・ 水質検査：年4回 ・ 冷暖房用設備の冷温水発生機点検、保守 年4回 ・ 冷却塔点検・保守、空気調和機・空調換気扇フィルター清掃、自動扉開閉装置の駆動・懸架・制御等の保守管理、消防設備の自動火災報知設備、排煙設備、スプリンクラー設備、誘導灯及び誘導標識、消火器具、非常放送設備、火災報知装置、自家発電設備点検：年2回 ・ 自家用電気工作物保守管理：年6回
(3) 植栽維持管理	職員が学園敷地内の植栽を点検し、随時、肥料補給や枝切り等の維持管理や雑草刈りを実施
(4) 警備	防火管理者のもと日中は火元責任者が各エリアの管理を実施し、夜間は夜勤者が学園内外の火・電気、戸締り等と定期巡回を実施
(5) 小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレ改装 ・ 吸収式冷温水機修理 ・ 誘導灯ランプ取替 ・ 厨房 給水管系統仕切弁移設 ・ 合併処理槽 自動微細目スクリーン取替 ほか

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防計画や安全対策要綱に基づいた避難訓練 月1回（うち夜間想定を2回、緊急時電話通報訓練1回） ・ 不審者への緊急対応訓練 年1回 ・ 救急救命講習のAED操作、三角巾の使用方や救急車要請訓練を開催 ・ 栄養職員の衛生管理 年2回 ・ 感染症発生時の処置方法を確認
(2) 個人情報の管理状況	・ 基本協定(個人情報の取扱いに係る特記事項)に基づき、適正に管理している

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
合計	0	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項目	収入額	減免額	減免理由
自立支援費等収入	505,054	0	
		0	
		0	
合計	505,054	0	

(3) 収支決算

（単位：千円）

収入		支出	
指定管理料	81,698	人件費	367,208
利用料収入	502,802	光熱水費	19,919
その他	2,252	修繕費	6,101
		その他	101,095
合計 ①	586,752	合計 ②	494,323
収支差額 ①－②	92,429		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応

7 事故、故障等

年月	内容	対応

8 その他報告事項など

特になし

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の日中作業（クッキー製造）について、販売先を拡充するなど、利用者の働く意欲向上に努めた ・ 防犯対策として、厨房に防犯カメラの設置をし、警備の強化にあたっている ・ 機械浴槽を新設し、これまでお湯につかることができなかった利用者の衛生保持に取り組んでいる ・ こうした取り組みなどにより、利用者サービスに関するアンケートで満足度95%以上を維持した
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の清掃や設備保守点検、警備等が事業計画どおり適切に実施されている ・ 不具合が生じた機器等の補修・修繕を迅速に行っており、利用者にも与える影響を最小限にしている
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員配置や職員研修、個人情報の管理について、事業計画どおり適切に実施されている ・ 避難訓練、消火訓練を実施するとともに、救急救命講習のAED操作、三角巾の使用方や救急車要請訓練を開催するなど、安全管理に努めている ・ 全職員が感染症対策の研修を受け、知識の習得に努めるとともに、利用者への予防接種、また発生時の適切な処置を行うなど、衛生管理を図っている
総合評価	A	施設の設置目的にあった管理運営がなされており、利用者の声を運営に生かすなど、利便性の向上に積極的に取り組んでいる

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげてし
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

特になし